



浅野みえ子

所沢市議 市政レポート NO.20



2009年
7月吉日

お元気ですか？暑さに負けずに不景気に負けずにご活躍下さい。私も、人と人とのつながりを大切にして日々、活動しています。6月定例議会の報告をします。

歩行者安全の道路づくりを町内会役員の方々と力を合わせて実現して行ってます
県道久米所沢線、ワルツ南側～東住吉交差点まで歩行者の安全レーンが実現



南陵中学校生徒の通学路が綺麗になりました。所沢村山線が全面開通したら「一方通行」にするよう市に一般質問しました。市は「今から、市・県・警察で協議していく」と答弁



伊東内科前のパーキングのガードレール先を丸いゴム製に。歩道は今後なだらかにする・横断者が見やすくする為に電柱移動決定。何m移動するかを、現場で打ち合わせしました。川越県土事務所・市の交通安全課道路維持課・NTT・東住吉町内会会長、副会長と私も
写真は 上下

側溝もきれいになり、歩行者安全レーンも敷かれ、大変歩きやすくなったと好評です。東住吉交差点～吾妻までもこの秋には、県が工事をする予定です



所沢駅西口の「県道久米所沢線」も、ワルツ前の歩道も県が工事し、きれいになりました
南陵中学校の通学路、駐輪所脇の市道も市が工事し歩行者安全レーンも。歩く生徒達に笑顔が



東住吉町内会会長と、警察署に要望書を持っていきました
「東住吉」信号交差点の、歩行者信号の青を長くするよう「所沢警察署」に要望しました。警察署署長からすぐに、返事があり「弱者信号設置」をする事となりました。これで約4秒、青信号が長くなります。この要望は、吾妻地区の、全町内会会長名で要望しました。又、駅東口所沢コーポラス前の「市道・陸橋通り」の車道と歩道が凸凹なので、水たまりが多い為「改修して欲しい」との住民要望があり、すぐに声を市に届けました。実現するように活動して行きます。

5月臨時議会と6月定例議会で採択～いくつか議案を紹介します～

「市税等過誤還付金」

4億6,500億円

予算時と比べ、法人市民税が約9億円減少

法人（企業）が1回で市税を納付するのが大変だから、20年度決算が行われる前に、過去の納税額から予想して21年度分の法人税を半分位、先に納税しています。

ここに来て20年度決算を21年3月・5月に市内法人が行い、赤字決算となった所が多々ありました。よって、市はすでに納付された金額を法人に返しました。それが、過誤還付金です。景気悪化は、市内法人にも影響大です。市の歳入はこの還付金の2倍入る予定でしたから、約9億円の歳入が減りました。これは所沢市だけの減少ではなく、狭山市の還付金は1企業だけでも13億円となったそうです。と言う事は、歳入が26億円は減少したのです。どの自治体も厳しい財政状況です。国は16年度からカットし続けた地方への補助金を回復すべきだと、私は考えます。



「所沢市一般職員・特別職の夏のボーナスが0.2ヶ月減」

- ・ 人事院勧告が「国家公務員の夏のボーナスを0.2ヶ月削減した」のを受けて所沢市も、実施
- ・ 結果、基礎額の1.95ヶ月となりました。額にして一人平均8万3千円の減です
- ・ 支給額は、平均約90万円（平均年齢44.8才）
- ・ 削減額の合計は、1億9,598万3,000円・
- ・ ちなみに議員は10年前から、0.2ヶ月職員より減額しています

採決結果は可決

- ・ 賛成議員 26人
- ・ 反対議員 7人
- ・ 反対は、日本共産党 6人
会派「共生」1人です
- ・ 反対会派の方々の主張の1つは、「職員組合との合意が出来ていない」です



～スマイル応援手当事業～

200万円

- ・ 配偶者等の暴力（DV）から、逃れている母・子どもに市が独自事業として、定額給付金相当額を実施する
- ・ 対象者は、約40世帯、約100人を予定
- ・ 家庭裁判所で、DV被害者と認められている人



後期高齢者医療特別会計へ追加

400万円

- ・ 21年度の当初予算で、26億8,500万円
- ・ 6月補正予算で、400万円追加し、総額で、26億8,900万円が、市の負担金です



北秋津町内会総会にて

民間保育園施設設置への補助事業金

3,207万5,000円

- ・「病児保育室」を含む、社会福祉法人立保育園を創設（定員60名）
- ・同じ法人が隣り合わせて「老人施設」「診療所」を創設する
- ・この補助金は、保育園創設のみへの補助金
- ・総事業費 1億4,005万円
- ・県の補助金 6,665万円(国が県に創設した基金から)
- ・市の補助金 3,207万5,000円
- ・残りは、社会福祉法人負担

民間保育園の創設に力を入れて待機児童対策を実施する

国は、平成16年度に公立保育園への補助金を廃止しました。それまで市に国から出ていた公立保育園への補助金額を示します。17年度から、市税のみで公立園は運営しています

- ・平成14年度は、6億8,000万円
- 15年度は、6億7,000万円でした
- ・16年度からは、公立保育園は全て市税で運営しています
- ・民間保育園の運営費は国が4分の2・県が4分の1補助金が出ます

平成22年度に向けて、2つの社会福祉法人が保育園創立予定（予定地域は、山口地区と吾妻地区だそうです）



「こども相談センター」をご利用下さい
こども未来部が、四月から生まれ二階に開設したセンターです。ベテランの相談員の方々が、お話を聞きしています。低いカウンターで話しやすく、日
々、若い保護者の方がお子様を連れて遊びにいらしています。横に「幼児ルーム」があり優しい保育士さんがこどもを預かり遊んでいます。



新型インフルエンザ対策費 500万

- ・今秋にも流行する事が懸念されているので、初動対策用物資を備蓄し、市の体制を整備する
- サージカルマスク：4万9,000枚
- 消毒液：ポンプ式と詰め替え用
- 防護服キットと防護用ゴーグル：いずれも、患者が多数発生の際に市職員が使用して対応する
- 保存袋：20袋（死亡の方がでた場合に使用）
- 緊急事態の場合は「市民医療センター」を新型インフルエンザ対応のみにするとの事です

なぜ、保育行政で公立園のみ優遇するのか？

2階建て公立保育園に「階段が危険」との理由で担任外の保育士がいます。又、他に担任外の保育士が2名います。（副園長・保育士）その上、1人の保育士が受け持つ乳幼児の数も、公立は民間より少ないです。他自治体は、公立も民間も同じ受け持ち人数の自治体ばかりです。私は「公立に保育士が多いから新規保育士の募集をしないで人件費を削減しては？その経費を民間園の増設で待機児童を減らしては？」と、一般質問しました。回答は、市長も総合政策部長も「保育課とヒヤリングをして検討します」と、答弁しました。国・県から公立保育園の運営費補助がなくなった16年度に、2階建て公立園に配置していた保育士を全園で廃止した自治体が多いです。しかし、市は22年度募集で9人も保育士を募集しています。職員課に聞くと「退職者の補充です。議場で市長が答弁した検討は23年度からです」と言うのみです？なぜ、公立保育園のみ優遇するのでしょうか？市には民間幼稚園の幼児もいるのに・・・

活動報告：みな様の声をお聞きしています

- 5月2日：市内障害者団体の方と会派で懇談・意見交換
4日：久米の「郷土美術館」竹久夢二展へ
5日：民主党所沢支部演説会「所沢駅西口」
7日：北秋津・民踊リクレーシヨンの会へ
8日：議会「代表者会議・議会運営委員会」
10日：北秋津町内会の「25回歌とおどりの会」へ
11日：高齢社会を良くする会と福祉課の話し合いへ
12日：建設水道常任委員会（午前中）
12～13日：愛知県・名古屋市へ会派で視察
「名古屋市子ども条例」「サツキとメイの家」を視察
15日：南陵中学校先生方の歓送迎会へ
16日：「浅野みえ子市政報告会」吾妻公民館にて
17日：NPO 学童クラブの総会へ
文化会館サークルの文化祭展示を見学
18日：教育福祉常任委員会を傍聴
19日：民間委託化した児童館を視察（福生市）
20日：さいたま市市長選を支援に
21日：人間市文化財「西洋館」保存の為の経過を視察
22日：「所沢駅周辺まちづくり協議会」を傍聴
23日：第2小手指学童クラブ開設式へ
24日：議会基本条例制定報告会（全議員～市民～）
25日：市議会の「臨時議会」開催
27日：蒼空会（どんぐりの家）13回総会へ
28日：6月議会前の代表者会議・議事運営委員会
30日：私の会派「民主ネットリベラルの会」主催の
「協働のまちづくりシンポジウム in ところざわ」
31日：コーポラス睦会・夜、住吉会館改修お披露目式
6月 1日～8日：6月議会の議案研究
7日：織物文化研究会総会
9日～24日：6月定例議会
14日：西新井「能面美術館」落語の会へ
20日：新所沢幼稚園・父の日運動会へ
25日：北秋津小学校「子ども・夢・アートアカデミー」
26日：牧野俊浩氏「声が変われば人生が変わる」講座
27日：新所沢幼稚園・地域の教育力講座講演会へ
28日：ふらっと祭：映画は「ここに泉あり」
29日：東部クリーンセンター・廃プラ実証実験視察
7月1日：「所沢市都市計画審議会」委員になり、参加
3日：県道所沢久米線舗装の為、現地での打ち合わせ
5日：北秋津小学校遊ぼう会「七夕まつり」
6日：コーポラスの睦会「安心安全パトロールの会」
で市の出前講座：防犯の街づくり
12日：東住吉八坂神社大祭
北秋津八雲神社祭礼・火渡りの祭へ



北秋津八雲神社祭・地域中を御神輿が回る

みえ子のおしゃべり バブル期の市税はどこに？

「高度経済成長時代は、市税が予算以上にどんどん入って来てその額は何十億円です。その時のお金はどこに消えたのでしょうか？「所沢駅東口周辺に公共施設を、また吾妻地域に市民体育館等を造る余裕もあつただろうに、造らずに・・・どこへ？」バブル時代は、職員・議員に年度末手当が出ていました。（今は無い）当時の人件費に消えていったのでしょうか？五月臨時議会で「職員のボーナスを削減する議案」質疑の時に、総合政策部長は「バブルの時は、1月頃になると人事院勧告のベースアップで4月にさかのぼり差額が、一〇何万円とか支給されました」と、答弁しました。今、正職員と臨時職員の給与の格差が問題になっています。この格差を埋める必要を私も強く思います。しかし、歳入の四八%近く正・臨時職員の人件費が占めているのですから、職員同士の格差を埋める為にこれ以上の市税を投入出来ませんか？どうしたら良いと市民のみな様は思いますか？

浅野みえ子自宅

北秋津876-3所沢コーポラス H 204

浅野みえ子事務所：(靴のテイクワン向い)

TEL (2995) 1463

FAX (2991) 3538

メール asanomieko@nifty.com

日々の活動をブログ・ホームページで

浅野みえ子で検索すると繋がりますが

アドレスは下記です

<http://asanomieko.cool.ne.jp/index.html>